

10月15日（土） あいさつ

きのう 5年生の^{どうとく}道徳で「^{あいさつ}のな
^{くに}い国」について^{かんが}考えていました。

あいさつがある^{くに}国とない^{こく}国ではどん
な^{ちが}違いがあるのか。5年生は、^{つぎ}次のよ
うな^{いけん}意見を^{はっぴょう}発表していました。



「あいさつがあった^{ほう}方が^{コミュニケーション}がとりやすくなる」 「あいさつがあった^{ほう}方が^し知り^あ合いになりやすい」

「あいさつがあった^{ほう}方が^{あか}明るくなる」 「あいさつがあった^{ほう}方が^{うれしい}」 「あいさつがあった^{ほう}方が、ちゃんとした

^{きも}気持ちで^{たの}楽しく^{すご}せる」 「あいさつがあった^{ほう}方が、^{ともだち}友達が^ふ増える」 「あいさつがあった^{ほう}方が^{かんこう}観光の^{にんき}人気が^{たか}高くなる」

「あいさつがないと^{くら}暗くなる」 「あいさつがないとどん
よりした^{きも}気持ちになる」 という^{いけん}意見も^で出ました。

^{みな}皆さんにとってはあいさつは^あ当たり^{まえ}前ですが、もしあいさ
つがなかったらと^{かんが}考えると、ちょっと^{くら}暗い^{きも}気持ちになります

ね。5年生が^{はっぴょう}発表してくれたように、あいさつは、みんなを
^{あか}明るく^{だいじ}する^{ことば}大事な^{ことば}言葉なのです。

村越 新